

東京学芸大学紀要出版規程の一部改正について（案）

現 行	改 正 （案）
<p>第1章 総則</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 この規程は、東京学芸大学紀要（以下「紀要」という。）の出版に関し必要事項を定め、紀要の能率的かつ公平な発行に資し、<u>もつて</u>学術の向上をはかることを目的とする。</p> <p>（部門）</p> <p>第2条 本学の講座及び施設・センター等を別表第1の部門に分け、それぞれの部門において自主的に紀要を発行するものとする。</p> <p>（投稿）</p> <p>第2条の2 各部の専任教員並びに学部附属の教育研究施設、留学生センター、国際教育センター、教員養成カリキュラム開発研究センター、保健管理センター及び情報処理センター所属の専任教員は、所属部門に投稿するものとする。他の部門に投稿を希望するときは、次条に定める当該部門の編集委員会の承認を得るものとする。</p> <p>2 附属学校の専任教員は、希望する部門に投稿することができる。その場合は、投稿を希望する部門に属する専任教員の紹介を経て、次条に定める当該部門の編集委員会の承認を得なければならない。</p> <p>第3条 〔省略〕</p> <p>（構成）</p> <p>第4条 編集委員会は、<u>所属する講座及び施設・センター等における教授会構成員のうちから、任意の方法により選出された5名以上8名以内の委員を</u>もつて組織する。</p> <p>2 前項の委員の任期は、就任の日から起算して3年とする。</p> <p>3 委員会に、委員長を置き、委員の互選により選出する。</p> <p>第5条 〔省略〕</p> <p>第6条 〔省略〕</p> <p>（庶務）</p> <p>第7条 編集委員会に関する庶務は、<u>別表第2にかかげる部局が</u>処理するものとする。</p> <p>第8条 〔省略〕</p> <p>（構成）</p>	<p>第1章 総則</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 この規程は、東京学芸大学紀要（以下「紀要」という。）の出版に関し必要事項を定め、紀要の能率的かつ公平な発行に資し、<u>もって</u>学術の向上をはかることを目的とする。</p> <p>（部門）</p> <p>第2条 本学の講座及び施設・センター等を別に定める部門に分け、それぞれの部門において自主的に紀要を発行するものとする。</p> <p>（投稿）</p> <p>第3条 各学系の専任教員並びに環境教育実践施設、教育実践研究支援センター、留学生センター、国際教育センター、教員養成カリキュラム開発研究センター、保健管理センター及び情報処理センター所属の専任教員は、所属部門に投稿するものとする。他の部門に投稿を希望するときは、次条に定める当該部門の編集委員会の承認を得るものとする。</p> <p>2 附属学校の専任教員は、希望する部門に投稿することができる。その場合は、投稿を希望する部門に属する専任教員の紹介を経て、次条に定める当該部門の編集委員会の承認を得なければならない。</p> <p>第4条 〔省略〕</p> <p>（構成）</p> <p>第5条 編集委員会は、<u>当該部門を担当する学系の教授会構成員のうちから、任意の方法により選出された5名以上の委員を</u>もつて組織する。</p> <p>2 前項の委員の任期は、就任の日から起算して3年とする。</p> <p>3 委員会に、委員長を置き、委員の互選により選出する。</p> <p>第6条 〔省略〕</p> <p>第7条 〔省略〕</p> <p>（庶務）</p> <p>第8条 編集委員会に関する庶務は、<u>当該部門を担当する学系が</u>処理するものとする。</p> <p>第9条 〔省略〕</p> <p>（構成）</p>

第9条 出版委員会は、次の各号に定める委員をもつて組織する。

- (1) 附属図書館長
- (2) 各部門の編集委員会委員長

2 出版委員会に、委員長を置き、委員の互選により選出する。

第10条 〔省略〕

第11条 〔省略〕

(庶務)

第12条 出版委員会に関する庶務は、当分の間、附属図書館がこれを処理する。

別表第1 〔表省略〕

別表第2 〔表省略〕

第10条 出版委員会は、次の各号に定める委員をもつて組織する。

- (1) 附属図書館長
- (2) 各部門の編集委員会委員長

2 出版委員会に、委員長を置き、委員の互選により選出する。

第11条 〔省略〕

第12条 〔省略〕

(庶務)

第13条 出版委員会に関する庶務は、当分の間、学術情報部がこれを処理する。

〔削除〕

〔削除〕

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。